

報道関係者 各位

2022. 2. 15
<配信枚数2枚>

映像学部生・映像研究科生の学びの集大成
2021年度「立命館映像展」をオンラインで開催

開催期間：2022年2月25日（金）～27日（日）

立命館大学映像学部・大学院映像研究科は、2月25日（金）～27日（日）の期間、2021年度卒業生・修了生の制作作品や研究成果を上映・展示する「立命館映像展」を開催いたします。

今回のテーマは、「映像の中へ飛び込め」。新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大から、今年度も会場での開催は行わず、特設ホームページにて全作品をオンライン配信いたします。また、新たな取り組みとして、作品・研究内容のVOD配信に加え、ライブ配信で出展者が作品で伝えたいメッセージを届けます。

今年度は、映画・ドキュメンタリー・実験映像・CGアニメーションなどの映像作品36点、研究成果のビデオプレゼン、ゲーム・デジタルアーカイブ・メディアアート・VRなどの体験型映像を含む展示作品57点を発表します（2022年2月10日現在の予定）。オンラインで誰もがいつでもどこからでも「映像の中に飛び込む」ことが可能ですので、映像表現の可能性の開拓に挑んだ学生たちの学びの集大成をぜひご視聴ください。

主な見どころは別紙をご覧ください。

記

開催期間：2022年2月25日（金）11:00～27日（日）18:30

開催方法：オンライン

参加費：無料

特設ホームページ：<http://www.ritsumeit.ac.jp/cias/exhibition2022/>

※2月22日（火）17:00公開予定

主催：立命館大学映像学部、大学院映像研究科

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学映像学部事務室 担当：辻

TEL. 075-465-1990

別紙

■主な見どころ

<上映部門>全 36 点

韓国の政治犯として、19 年間獄中生活を余儀なくされた徐勝氏に関するドキュメンタリー『火傷』、人間の嘘と真実をシュールに描いたドラマ『えんまさん』、修士研究作品として少女と老婦人の何気ない日常の中で「出口のない痛み」を表現するドラマ『雨はバケツを叩く』などを配信いたします。また、CG アニメーションでは、荒廃した近未来の世界をフォトリアルに描いた作品『NEW WORLD』やメイキング映像などをご覧いただけます。

<展示部門>全 42 点

剣道の“決断のしくみ”に注目したアクションシューティングゲーム『ランナウエイ』、何気なく目にする日本の伝統文様を分かりやすく映像化した『視覚情報を用いた 日本の伝統文様のデジタルアーカイブ』、モーター機構によってディスプレイを自走させるメディアアート作品『シカク』、電車の車窓風景に着目し、疑似旅行の体験を提供する映像インスタレーション『SentimenTrain』、粘土による造形を通じて、日本の伝統色の名前と文化的背景に触れられるプロジェクション AR 作品『ImayohClay(今様クレイ)』などの作品を配信いたします。

<修士研究作品>全 6 点

コロナ禍で遠隔授業を受ける学生を支援する『遠隔授業における 3D アバタと相槌の強調表現を用いた意思表示インタフェース』などの研究成果を配信いたします。